ROCK BULL

Sakura Lure Division

◎ROCK BULL 103-2
・Length: 10ft 3in　・Piece: 2Pcs　・Closed Length: 1607mm　・Cast Weight: 60～150 g
・Line Weight: PE#5～8　・Rod Weight: 386g　・Graphite / Glass: 99% / 1%　・Price: ￥68,000-

◎ROCK BULL 88-3
・Length: 8ft 8in　・Piece: 3Pcs　・Closed Length: 926mm　・Cast Weight: 40～140 g
・Line Weight: PE#5～8　・Rod Weight: 375g　・Graphite / Glass: 99% / 1%　・Price: ￥63,000-

Collaboration with

Huddle Lure

Motoharu Nishiguchi

●今回ROCK BULLを開発した経緯を教えて頂けませんか?

〇私自身、2000年頃から20年以上ショアの青物の釣りを楽しんでおります。その中で創世期は80g～120gを使用したショアジギングというジャンルが全盛でした。そうした中で2008年頃からオフショアヒラマサキャスティングでダイビングペンシルを使用したヒラマサの誘い出しという釣り方が流行しました。

●その釣り方をロックショアからすることによって、ロックショアヒラマサキャスティングが空前のブームをむかえましたよね。

〇はい、私自身もダイビングペンシルを使用してからは、ジグを投げる回数が激減しました。それくらいダイビングペンシルの威力が凄かったです。必然的にメーカー各社からダイビングペンシルやTOPで大型ヒラマサを狙うロッドが発売されていきました。でもやり込んでいくうちに、どうしても自身の理想のロッドが見つからなかったのです。

●開発当初から、強力なバットパワーと繊細なティップというコンセプトで開発していました。長さも通常のショアロッドよりも短かい8'8"と言うことでした。なぜ8'8"なのでしょうか?

〇まず、ショートロッドの利点ですが、
・軽快に取り回しができる。
・ダイビングペンシルの操作が短かい分、軽快かつ繊細に操作できる。
・ファイト、とくに瀬際のヒラマサとの攻防が凄く優位にできる。
・短かい分、素早く曲げこんでロッドパワーを活かすことができる。
・大型ヒラマサにのされ難い。

サクラさんの「曲げて獲る」というブランクスが私は昔から大好きでしたが、今回は3ピースと言うことで強度が凄く心配でした。通常の2ピースの青物ロッドよりも破断強度が強い設計になっております。曲がりの頂点が3ピースの真ん中のブランクスに来ますのでサクラでは逆に強度は上がるのです。破壊強度試験の結果を見たときは私自身ビックリしました。3ピースと言うと遠征用?と思われるアングラーもいると思いますが、決して遠征用の3ピースではありません。ROCK BULL88-3を作るうえでは3ピースが必然だったのです。

●あと先ほどファイトでも有利とお聞きしましたが、もう少し詳しくお聞かせください。

〇シャローエリアでは魚は横や沖に走ります。ショートロッドをしっかりと曲げこんで立ててファイトすることによって、ロッドのバットパワーを最大限に利用できます。 そうすると沖でも、横でも、魚が走りながらロッドのトルクにより中層に浮くのです。それによって根ズレを安心して避けられます。ロングロッドでパワーがあるロッドだとヒラマサの引きで立てられず、若干のされた状態でのファイトになります。そうなるとシャローエリアでは魚は浮きませんので、根ズレをしてしまいます。

●ROCK BULL103-2のコンセプトも教えて頂けますか?

〇はい、ロックショアロッドのど真ん中を狙って開発しました。ど真ん中と言っても10kgオーバーのヒラマサを狙う上での、ロックショアロッドのど真ん中です!!

・モンスターヒラマサを浮かせるバットパワー!
・曲げて粘ってそして魚を浮かす粘りのあるブランクス!!
・160㎜のダイビングペンシルをしっかりと扱える繊細なティップ!!
・130g以上のルアーも無理なく投げることができるティップ～ベリーセクション!!
・離島の飛行機の貨物に預けることができる160㎝の仕舞寸法!
を持ち合わせた理想的なロックショアロッドに仕上がっております。

●ありがとうございます。ROCK BULL103-2は強靭なバットパワーを持ちながら、繊細なティップで小型のダイビングペンシルを「しっかりと扱える」ロッドと言うことですね。最後にROCK BULLの88-3と103-2の選び方を教えて頂けますか?

〇両方とも、破断強度は20kg以上あり、「曲げて浮かせる」トルクフルなロッドです。ティップも「ペンシルスペシャル」と言って良いほど、他社製に比べても圧倒的に操作がしやすいロッドに仕上がっています。あとは、良く行くフィールドの足場の高さやアングラー自身の体格などによって選んで頂けたら良いかと思います。良いロッドを作って頂きありがとうございます。

2023年9月19日 西口元晴氏との対談を抜粋